

V201a **SuMIRe-PFS[2] – プロジェクトの概要と進捗状況 2015**

田村直之, 村山斉, 高田昌広, 下農淳司, 森谷友由希, 矢部清人, 石塚由紀 (東京大学), 高遠徳尚, 上田暁俊, 坂本健 (国立天文台), 他 PFS collaboration

PFS (Prime Focus Spectrograph) はすばる望遠鏡次期観測装置の一つとして開発が進められている超広視野ファイバー多天体分光器である。すばる主焦点の直径 1.3 度の視野内に配置された約 2400 本のファイバーに天体や空からの光を導入し、3つのカメラからなる分光器システムで 380nm から 1260nm の波長範囲に及ぶスペクトルを一度に取得する。PFS と、すでに稼働中の超広視野カメラ Hyper Suprime-Cam (HSC) は SuMIRe 計画 (“すみれ”: Subaru Measurement of Images and Redshifts) の両輪であり、遠方銀河と星の広域巨大統計から、ダークマター、ダークエネルギーの正体や、多種多様な銀河の形成、進化の物理過程を理解することが目的である。

PFS の開発は、東京大学 Kavli IPMU を中心した 6 か国 11 研究機関による国際協力により、2018 年前半試験観測開始、2019 年後半科学運用開始を目指し進められている。現在は、各部の最終設計をかためつつ、進捗に応じて順次製作、統合、試験が開始されている状況である。本発表では、装置の概要、開発の現状、スケジュール等をまとめるとともに、試から観測計画立案や、科学運用形態の策定、すばる戦略枠観測提案に向けた活動など、昨年秋季年会での発表からのアップデートを紹介する予定である。